さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGｓ）を支援しています。

さいたま市立
大砂土中学校

学校教育目標　「自ら学び　考え　行動する生徒の育成」
校訓　「涓滴と」
目指す生徒像
〇かしこさ　自ら学び、進んで考える生徒
〇ただしさ　正しく判断し、進んで行動する生徒
〇たくましさ　ねばり強く、進んで鍛える生徒
〇ゆたかさ　思いやりをもち、進んで奉仕する生徒

■所在地：さいたま市見沼区東大宮 1-100-1　■電話：048-684-8004
■FAX：048-684-8966　■交通：JR 土呂駅東口徒歩 20 分

０１　学校教育目標の具現化に向けた取組

（１）主体的・対話的で深い学びを中心に据えた授業の実践。(市教育委員会研究指定　令和２年度～令和４年度)
（２）ユニバーサル・デザインの視点を取り入れた教室環境の整備。
（３）人権教育に係る授業の実践や地域との交流。（体験出前講座）

０２　いじめの未然防止に向けた様々な取組

（１）いじめ予防授業を全校で実施。また、生徒会が作成した「大砂土中いじめ防止宣言」を元にいじめの定義や自分にできることを考え、話し合う授業を実施。
（２）涓滴プロジェクト（学校いじめ防止基本方針）の共有 及びネットトラブルに関する研修会の実施。（教職員）
（４）学校評議員連絡会における涓滴プロジェクト（学校いじめ防止基本方針）の共有及び意見交換（地域）

０３　体験的活動をとおして、まちづくりについて考える

（１）鎌倉で校外学習を実施。また、歴史的なまちなみをいかした取り組みについてを実地調査・発表を実施。（生徒）
（２）Minecraft（教育版）を活用し、理想のまちをプログラミングにより創造。（生徒）

さいたま市教育委員会では　ＳＤＧｓ教育を推進しています。

さいたま市立

片柳中学校

学 校 教 育 目 標

「夢をはぐくむ学校」
- ○自ら学ぶ生徒
- ○心豊かな生徒
- ○心身を鍛える生徒

■所在地：さいたま市見沼区御蔵５５１番地　　■電話：048-683-3173
■FAX：048-683-8963　　■交通：ＪＲ大宮駅東口より、バス２０分

０１　ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境の整備＆エコキャップ回収の取組

教室右前方にカーテンを取り付け、授業中はカーテンで掲示物を見えないようにし、目から入る刺激量を調整しています。また、全教室にデジタルタイマーを設置し、課題に取り組む時間を明確に示す工夫をしています。また、「エコキャップからワクチンへ～世界の子どもにワクチンを～」をスローガンに掲げ、生徒会活動の一環として、ペットボトルキャップの回収活動に取り組んでいます。

０２　環境の変化・制服の多様化に対応の新しい時代の制服の導入

２０２２年度よりジェンダー平等に配慮し、男女同じデザインのブレザーを取り入れ、スラックス・スカートとリボン・ネクタイを選択制にした新しい時代の制服を導入しています。作製に向けて、各クラスの生徒の代表が制服検討委員として、デザインや生地選択などの制服作製に向けた会議に参加し、意見を出し合い、時代に合った制服を作製しました。

０３　様々な分野の講師、企業と連携し、探究的な学習の充実

全校実施の人権集会では、「『人権』と『多様性』」という題で、性的マイノリティ・LGBTQ について学習しました。また、１学年では、企業が開発したコンテンツを使用し、生徒が「今、自分の興味のある仕事が IoT、AI の進化によってどう変わるか」といった仕事の未来像を考える学習を企業と連携、実施しました。今の時代を生きていくために必要な知識の基盤を学習しています。

さいたま市教育委員会では　ＳＤＧｓ教育を推進しています。

さいたま市立

春里中学校

本校は、学校教育目標を「自ら学ぶ生徒　思いやりのある生徒　健やかな生徒」とし、その実現のため「共通理解　共通行動　家庭・地域との連携・協働」を学校経営方針と定め、様々な教育活動に取り組んでいます。

令和６年度は、「確かな学力と豊かな人間性を育む、豊かな関わり合いを土台とした教育活動の実践」を研究主題に、学びの自律化に向けた「学び合う力、人間性等」に着目した資質・能力の育成を目指します。

■所在地：さいたま市見沼区大字小深作２６８－１９　■電話：048-683-3458
■FAX：048-683-8979　■交通：アーバンパークライン　七里駅徒歩 10 分

０１　学びの自律化に向けた「学び合う力、人間性」に着目した資質・能力の育成。

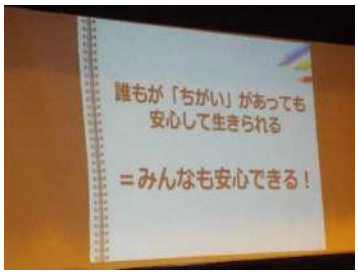
今年度、本校では、学ぶ意義を理解し、自ら課題を見つけ解決できる力、自己調整しながら学習を進めていくことができる力の育成を目指していきます。

⑴　よりよい評価の在り方を模索していきます。校内で各教科の評価に関する実践等を共有することで、指導と評価の改善を推進し、生徒の学ぶ意欲を高めてまいります。

⑵　タブレットＰＣなどのＩＣＴの積極的活用を推進していきます。教員のタブレットＰＣを活用した授業研究を推進するとともに、家庭における学習にＩＣＴを活用するなど、各生徒の実態に応じた学習支援を実施していきます。

０２　人権教育の充実

人権教育講演会、人権教育に関する校内研修の実施



本校では、例年講師を招聘するなどした人権講演会を開催しています。これまでにおいて障害のある人への理解、ＬＧＢＴ等への理解を深めるような内容で実施してきました。また、校内研修を実施し、教員の人権教育への理解を深める取組もおこなっております。今後も様々な状況の人々への理解を深め、ＳＤＧｓの目標「人や国の不平等をなくそう」に寄与していきたいと考えています。

さいたま市教育委員会では　ＳＤＧｓ教育を推進しています。

さいたま市立

七里中学校

① 「輝く笑顔　誇れる学校」の学校教育目標のもと、生徒一人ひとりが、学ぶ楽しさ、生きる喜びを味わうことのできる教育活動の推進

② 家庭及び地域との連携の一層の強化を図り、信頼され、愛される学校づくりの推進

■所在地：さいたま市見沼区東宮下１－１－１　■電話：048-685-0603
■FAX：048-685-5101　■交通：東武バス『宮下』バス停　徒歩５分

０１　学校と地域のより良い生活環境のために

本校では、毎年１回「地域清掃」を行っています。クラスごとに学校周辺や通学区域に分かれ、清掃活動をします。

学区をきれいにするだけでなく、通学区域の危険な場所を知り、地域のことに参画することを通して、地域の環境改善に取り組んでいます。

０２　自助・共助の視点を育む防災教育

毎年１回、防災用備蓄米の体験学習を行っています。災害時の非常食づくりの知識を得て、防災意識の向上を図っています。

また、防災アドバイザーによる講演を通して、知識としてだけでなく、もしもの時に活用できるよう「自助」「共助」の視点を取り入れた防災教育を行っています。

さいたま市教育委員会では、SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立
大谷中学校

学校教育目標
「自ら学ぶ　認め合う　大きな夢をもつ」
目指す学校像
「夢のある生き生きとした学校」
学校経営方針
「寄り添い　導き　見届ける」教育の実践

■所在地：さいたま市見沼区大谷１６３４－２　■電話：０４８-６８５－６９８２
■FAX：０４８-６８５－５１１８　■交通：アーバンパークライン七里駅徒歩１５分

０１　地域の人材・施設を活用して本物に触れる

本校では、地域にある Rai BoC Hall で合唱コンクールを行っています。実際にコンサート等でも使用される会場を利用して、「本物」に触れる体験を積んでいます。また、地域の企業の協力のもと、未来くるワーク体験を行い、「本物」の仕事に触れることで、ＳＤＧｓ目標４「質の高い教育をみんなに」を推進します。

０２　四季折々の花々の植え付け

本校は、季節の変わり目に、生徒・職員・ＰＴＡが協力して、校内に季節の花を植え付け、１年を通じて四季折々の花々が彩り豊かに咲き誇ります。また、体育祭前に除草作業も行っており、四季折々の花々の植え付けを通じてＳＤＧｓ目標１５「陸の豊かさを守ろう」を推進します。

０３　地域の医療と連携した学校保健委員会

本校は、地域の医療機関から講師を招き、全校生徒が参加した学校保健委員会を開催しています。昨年度は、大和田整形外科、東整形外科の理学療法士の方々から、「姿勢を正せば世界が変わる」をテーマに正しい姿勢や保つためのストレッチ方法を学びました。自校体操である「スーパーキレイ」の運動と、地域の医療と連携した学校保健委員会を通じてＳＤＧｓ目標３「すべての人に健康と福祉を」を推進します。

さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGｓ）を支援しています。

さいたま市立
大宮八幡中学校

本校は学校教育目標を「心豊かで たくましい 広い世界に生きる人間の育成～好奇心こそすべての始まり～」とし、ESD（持続可能な開発のための教育）の研究を推進しています。人権、環境、国際理解、多文化共生などの視点から地球規模の課題を生徒自身のこととして認識し、中学生として今何をしなければならないのかを足元から考える教育活動を通じて、「ESD の考えを生かした、自ら学び、考え、行動する生徒」の育成に取り組んでいます。

■所在地：さいたま市見沼区大字南中丸３－５－７　■電話：048-687-8800
■FAX：048-687-9301　■交通：アーバンパークライン 大和田駅徒歩 18 分

０１　持続可能な社会の担い手としての自覚をもった生徒の育成

学校オリジナルの ESD カレンダーに基づく教科横断的な授業

本校では、各教科等の授業において、学習の基盤となる資質・能力の育成、総合的な学習の時間、道徳、特別活動においては、ESD で身につけさせたい７つの資質・能力を身につけさせる授業を実践しています。このような資質・能力の育成により、本校の目指す生徒像の実現を目指します。

０２　国際教育（多文化共生）の充実

届けよう服のチカラプロジェクト

届けよう服のチカラプロジェクト

ユニクロからスタッフを招き、難民の現状や服のもつ力について学び、自分ができることを考え、着なくなった子供服を回収し世界の難民に送るというプロジェクトに取り組んでいます。また、国際教育学習会を通じて、世界の現実理解と多文化共生社会を実感するとともに日本の素晴らしさについて改めて知る活動も行っています。こうした活動を通じて SDGs の目標１「貧困をなくそう」や目標 10「人や国の不平等をなくそう」に貢献していきたいと考えています。

０３　人権教育・環境教育の充実

人権教育講演会・地域の社会教育施設（五反田会館）との連携・認知症サポーター講習会の実施

認知症サポーター講習会

本校では、新聞記者を招き、新聞を教材に SDGｓを学ぶ授業や地域の社会教育施設（五反田会館）との連携、地域の方々や人権意識の高揚を図る人権講演会や生徒による人権朝礼などを行っています。また、高齢者にやさしいまちづくりを目指し、認知症サポーターキャラバンを実施しました。こうした活動を通じて、SDGs の目標１１「住み続けられるまちづくりを」、目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」に寄与していきたいと考えています。

さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGｓ）を支援しています。

さいたま市立
春野中学校

1 学校教育目標
「明るく（知）豊かに（徳）たくましく（体）」

2 目指す生徒像
「夢や希望、高い志をもち、自ら進んで行動し、
自分の力で自分を高められる子」

3 学校課題研究
「ワクワクする学びの場面づくりとは？～個別最適・協働から自立へ～」

■所在地：さいたま市見沼区春野２丁目２番１号　■電話：048-682-3951
■FAX：048-682-3952　■交通：東大宮駅東口よりバスで約１５分「西三番街」下車

０１　食への関心を高める生徒主体の委員会コラボ企画

本校では、食育の取組として給食委員会・図書委員会、放送委員会コラボ企画を行っています。給食委員会が主体となって、図書委員会・放送委員会と共に、「絵本で出てくるメニューを給食で味わおう」と呼びかけています。各学年で創意工夫をしたポスターを作成し、生徒昇降口に掲示し、春野中学校全生徒の食の関心を高めています。また、それらの取組を通して日々食に関して「自分事」として考えられる生徒の育成を目指しています。

０２「ワクワクする学び」の実現を目指す教員研修と授業実践

本校では、『主体的・対話的で深い学びの充実』に向け、理論研修や全教員参加の授業参観を実施しています。多くの生徒がペア・４人組等の協働的な活動を通して、学び合う喜びを実感しています。

０３　ＳＤＧｓの視点をいれた環境教育の実施

本校では、SDGsの視点をいれた環境教育を実施します。自らが住む地域を検索することで、人々が安全に住める街づくりを考案し、「環境」「経済」「安定供給」をキーワードに、現代社会における電気の位置づけや役割の学習等を学んでいきます。